

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和6年度分 】

施設名	荒神谷博物館・荒神谷史跡公園	施設所管課	文化財課
指定管理者	特定非営利活動法人 出雲学研究所	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 指定管理については適切な運営を実施しており、考古学に関心がある層はもとより、子どもを含めた幅広い利用者の増加に向けて努力している。また、HPをリニューアルするにあわせて多言語化に取り組んでおり、新たな誘客努力を行っている。施設及び公園管理についても、常に安全を保てるよう適切に管理している。
	【改善すべき点】 新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ利用者数は回復傾向にあるが、さらなる利用者増加に向けた対策が必要である。令和6年度は国宝展があり、入館者数の増加が見込まれるが、考古学に興味がある人だけでなく幅広い層を対象として広域に向けた広報に努める必要がある。
指定管理者	【優れていると評価した点】 令和5年度において空調設備の取替が完了し展示環境の評価を実施しながら適切な展示業務を行い、お客様から好評をいただいた。リニューアルしたHPを活用し、展示やイベント情報を積極的に発信した。来館者、来園者が回復し利用料金の増額に繋がり、老朽化した施設の修繕へ充当した。年間を通じて公園の環境美化に努めた。
	【改善すべき点】 遺跡見学者並びに博物館来館者が、再び訪れたいと思う魅力づくりを行う。 公園来園者は、大型遊具撤去後年々減少し半減した。イベント等の集客に更に工夫が必要である。 老朽化した竪穴住居の取扱いについて方向性の決定が急がれる。（来園者の安全面、美観上から）

2. 施設利用について

総括	施設来場者の利便性の向上と安全確保のため、施設の日常点検及び巡回監視を行い、老朽施設の改修や危険生物等の被害防止に努めた。また、地域の歴史・文化の学習の場として、講座開設や、生徒児童、教員の研修受け入れを行った。
----	--

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

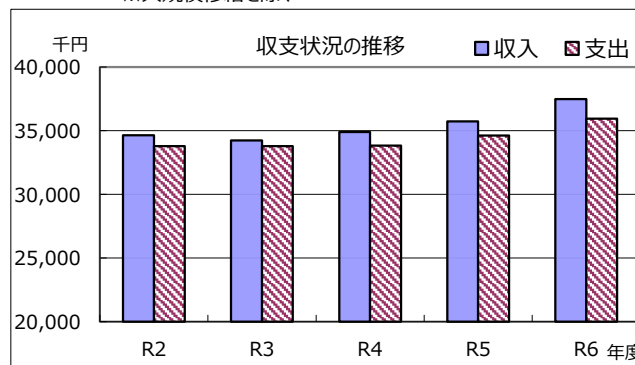
	項目	R2	R3	R4	R5	R6
施設の収支	収入	34,632	34,235	34,890	35,734	37,484
	うち指定管理料	29,933	30,350	30,210	31,420	31,420
	うち利用料	1,266	1,336	1,558	1,448	2,441
	その他	3,433	2,549	3,122	2,866	3,623
	支出	33,794	33,780	33,832	34,620	35,937
	差引	838	455	1,058	1,114	1,547

＜上記以外の市の収入、支出＞

（単位：千円）

	項目	R2	R3	R4	R5	R6
市の収支	収入（使用料）	276	334	517	495	636
	支出	5,534	2,742	4,554	1,831	5,545
	うち修繕費	2,345	2,230	2,022	244	4,746

※大規模修繕を除く



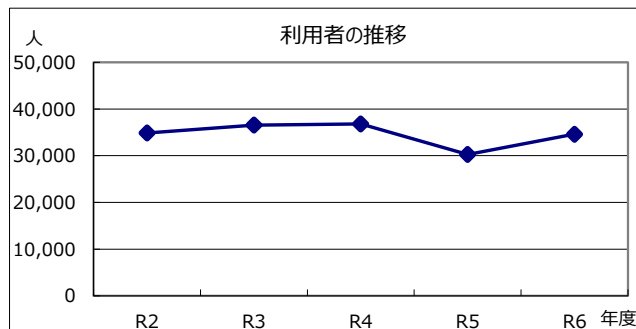
収入増・コスト削減に関する取組

- ・新聞、テレビ、雑誌等の取材申込を積極的に受入れ広告宣伝経費節減と誘客の拡大を図った。
- ・リニューアルしたHPに問合せフォームを新設したことや、積極的な情報発信により、お客様からの問合せや見学申込が増えた。
- ・当施設オリジナル商品の販売拡大と、ショップ商品を拡充し収入の確保をした。
- ・普段から職員が除草作業等実施しコスト削減を図った。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用 者	R2	R3	R4	R5	R6
	34,866	36,569	36,807	30,269	34,612



利用者の増に向けた取組・利用の動向

- ・講演会や講座を開催し来館を促した。
- ・計画的に各種イベントやホールにおける展示等を開催し、その情報提供もマスコミ取材により広く周知した。
- ・HPから各種施設利用やガイド申込が可能となり、問い合わせが増加するとともに、利用者の利便がはかれた。
- ・博物館来館者は回復傾向であるが、公園利用者は遊具の撤去以降減少している。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

アンケートは展示ごとに内容を変えて行い、原郷展17件、特別展94件、企画展187件、合計298件の回答を得た。この他、展示室に事由に記載できるノートを設置している。いただいたご意見等は展示や、施設の利用改善に活かしている。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見（問題点）・対応（効果）
291 件	①非常に良い	158 件 54.3 %
	②良い	130 件 44.7 %
	③ふつう	件 0.0 %
	④悪い	3 件 1.0 %
	⑤非常に悪い	件 0.0 %
		【意見】他の県の展示をしてほしい。 【対応】展示のテーマにより、県外の出土品等対応している。 【意見】解説してくれる人がいるとよい。 【対応】特別展等解説開催日を告知し行っている。 ・スタッフがやさしく、たくさん説明をしてもらえて興味が深まった。

(4) 住民サービス向上の取組・事例

- ・博物館ホールにおいて、銅剣と銅矛の模鑄品を実際に手に持って質感や重量を体験できるコーナーを設けている（好評）そのほか、荒神谷遺跡を紹介する映像を流している。
- ・ボランティアガイドの会と連携し遺跡見学者に無料ガイドを実施している。
- ・公園や博物館前の広場の除草作業を普段から職員が行い開放している。

3. 自主事業について

総括	・当地域の歴史文化に親しみ、学びの場の提供することを目的に、季節ごとにさまざまなイベントや、毎月の講演会・風土記談義を開催した。 ・公園を中心とするイベントは、雨天で古代米の試食会に変更した田植も含め計画した8事業を全て実施した。 ・博物館ホールにおいては年間を通じて当地域で活動しているグループや作家等の、絵画、写真、趣味の作品を展示し6,100人に見学いただき、来館のきっかけとした。
実施状況	・講演会：12回（380人ワライン参加37人含む）・風土記談義：12回（475人）・ホール展示：10回（6,105人）・荒神谷古代こどもフェスタ：5/5（1,200人）・赤米試食会：5/12（20人）・荒神谷古代ハスマつり：6/30（1,300人）・赤米稲刈体験：10/13（28人）・クリスマスリース作り：12/8（16人）・弥生の炊飯体験：1/28（21人）・荒神谷古代もちつき会：2/2（91人）・荒神谷椿まつり：3/20（300人）

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・いつもきれいで安全な公園を目指して除草作業を実施するとともに、必要に応じて老木や支障木の処理を行った。
- ・毎日、博物館内、公園内を巡視し危険個所の把握、獣害被害や蜂の巣等の発見に努め、必要な修繕、来園者への注意喚起、駆除を実施した。
- ・老朽施設の修繕は担当課との協議により優先順位をつけて実施した。

5. 職員（従業員等）の接遇・研修について

- ・職員一同、常にお客様に対してあいさつの励行、丁寧な対応を心掛けています。
- ・接遇研修を講師を招聘して実施した。また、観光協会主催の接遇研修に職員1名を参加させた。
- ・県立古代出雲歴史博物館及び県外施設へ出向き接客や、展示の研修を実施した。